

一般社団法人日本薬学生連盟 2023年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	小山内 天音
立候補する役職	地域連携委員長
大学/学部/学科	東京薬科大学/薬学部
学年	2年
所属	地域連携委員会・外務部
日本薬学生連盟での活動経歴	2022年4月地域連携委員会所属 8月外務部所属 10月薬学生ジャンボリースタッフ
立候補動機	前任者の推薦により、立候補させていただきました。 地域連携委員会の強みは、当団体3大イベントのうち、新歓・薬学生ジャンボリーの運営を大学・学年・地域の壁を超えて運営できることです。それらのイベントを活性化し、全国の薬学生の繋がりを一層強くしたく、立候補致しました。
問題点と改善案	<p>「イベントや企画の運営」に関する問題点と改善案。 10月に開催した薬学生ジャンボリーは、新型コロナウイルス感染拡大以降、初めての対面イベントであり、ご参加の方々から嬉しい感想をいただくことができました。しかし、参加者と非会員の数の少なさに問題を感じます。 改善案として、参加したいと思う魅力的な企画を提示すること・開催目標を明確にすることが挙げられます。前者は、薬学生同士の交流の場を提供すると共に、専門的・アドバンス的な内容を加えることで、薬学生が興味を持って参加できると考えます。そのために、計画的に企画案を集め、企画決定後は、運営準備を進めるためのスケジュール管理が重要であると考えます。後者について、参加募集・非会員参加の数を目標設定し、本部及び地域連携委員会内で共通認識を持つことが必要です。 また、今年度のイベントを通して、地域連携委員会に所属希望する人が他部署と比較して少なかったのも問題点の一つです。地域連携委員会でどのような活動をし、イベントを開催しているのか、また地域連携委員会の魅力を広報や部署紹介で知ってもらうことが大切であると考えます。</p> <p>「地域連携委員会内の活動」に関する問題点と改善案。 問題点として、①地域連携委員会内の連携 ②企画数 ③地域連携委員長への負担、の3つが挙げられます。</p> <p>①イベント開催以外の期間において活動が停滞し継続的でなく、そのため、イベント開始時の活動が円滑にスタートできない現状があります。定期的なミーティングや交流を行い、地域連携委員会内の連携を強化し、率直な意見を出しやすい環境作りと活動意欲の向上に繋がっていきたいです。</p> <p>②地域連携委員会として、出す企画数が少ないです。スタッフ自身が思いついた時にいつでも提案できるような場所を用意し、企画案が出しやすい雰囲気や環境を作っていきたいです。また、地域連携委員会だからこそ実現できる内容を企画したいです。例えば、かかりつけ薬剤師や在宅医療などの地域医療や、薬剤師の地域偏在による格差問題等をテーマにした企画等が挙げられます。</p> <p>③スタッフが各地域に偏在していることにより、地域連携委員会の業務の分担が難しく、地域連携委員長に業務が集中してしまっています。その結果、業務内容や進捗状況がスタッフに共有できていない現状があります。新歓や薬学生ジャンボリーなど大きなイベントでは、イベント開催地のリーダーを明確にし、スタッフの仕事の進捗状況やスケジュール管理をまかせることで、スタッフの参加意識を高められます。これにより、全てのスタッフがイベントに対して共通認識を持ち、協力し合いイベントを成功させることで、スタッフ自身の成長にも繋げることができます。</p>

<p>活動計画</p>	<p>4・5月 新歓 10月 薬学生ジャンボリー 3月 年会</p> <p>通年イベントの実施に加え、スタッフが実現したい企画も、大切にしていきたいと考えています。</p>
<p>所信</p>	<p>私は、当団体に参加し将来への可能性を広げることができました。全国の薬学生と話したり、意見を交わす機会により、様々な考えや価値観に触れることができ、自らの将来についても深く考えるきっかけを与えてくれました。</p> <p>様々な企画に参加させて頂きましたが、特に印象に残っているのが、薬学生ジャンボリーです。私が初めてスタッフとして活動し、スライド作成や当日のWS説明等する機会を頂きました。WSが楽しかったというお声を多く頂き、とても嬉しく感じたと共に、自身の自信にも繋がりました。また、対面での実施だったため、スタッフ同士の連携や繋がりの重要性に改めて気づきました。私は次期地域連携委員長となり、その重要性を大切にしたい地域連携委員会を築いていきたいです。</p> <p>また、日本薬学生連盟に参加して将来について考えるきっかけが増えたため、もっと知りたい・学びたいと思うことが多くなり、そのような思い対して行動に移すことができるようになりました。初めて日本社会薬学会第40年会や、仙台で開催されました第55回日本薬剤師会学術大会に足を運び、新たな学びから視野を広げることができました。また、自身がやりたいと思う内容を企画として提示することができました。そのような自分になれたのは、新しい価値観や知識に触れるような企画や、将来の夢について語り合えるような仲間や先輩方と出会うことができたからです。</p> <p>私は、「やってみたい」という気持ちで、最初の一步を踏み出す最大のチャンスであると考えています。薬学生の挑戦したい・成長したい・新しい価値観を見出したいという気持ちを大切にできるように、私は本部の一員になり、そのような気持ちを後押しできるよう、活動していきたいです。また、自身をまとめる立場に置くことで、責任感を持って行動し、新しい可能性や能力を見出し、将来に繋げていきたいです。</p> <p>地域連携委員長になり、薬学生同士の繋がりを一層強いものとし、当団体が「薬学生のプラットフォーム」であり続けることを第一に、邁進してまいります。</p>